

1. 入港船舶

入港船舶数は31,177隻(前年比99.3%)・総トン数は5,994万総トン(同107.2%)であった。これを外内航別に見ると、外航は隻数4,943隻(同98.5%)・総トン数4,264万総トン(同110.7%)、内航は隻数26,234隻(同99.5%)・総トン数1,729万総トン(同99.3%)であった。(図-1、表-1参照)

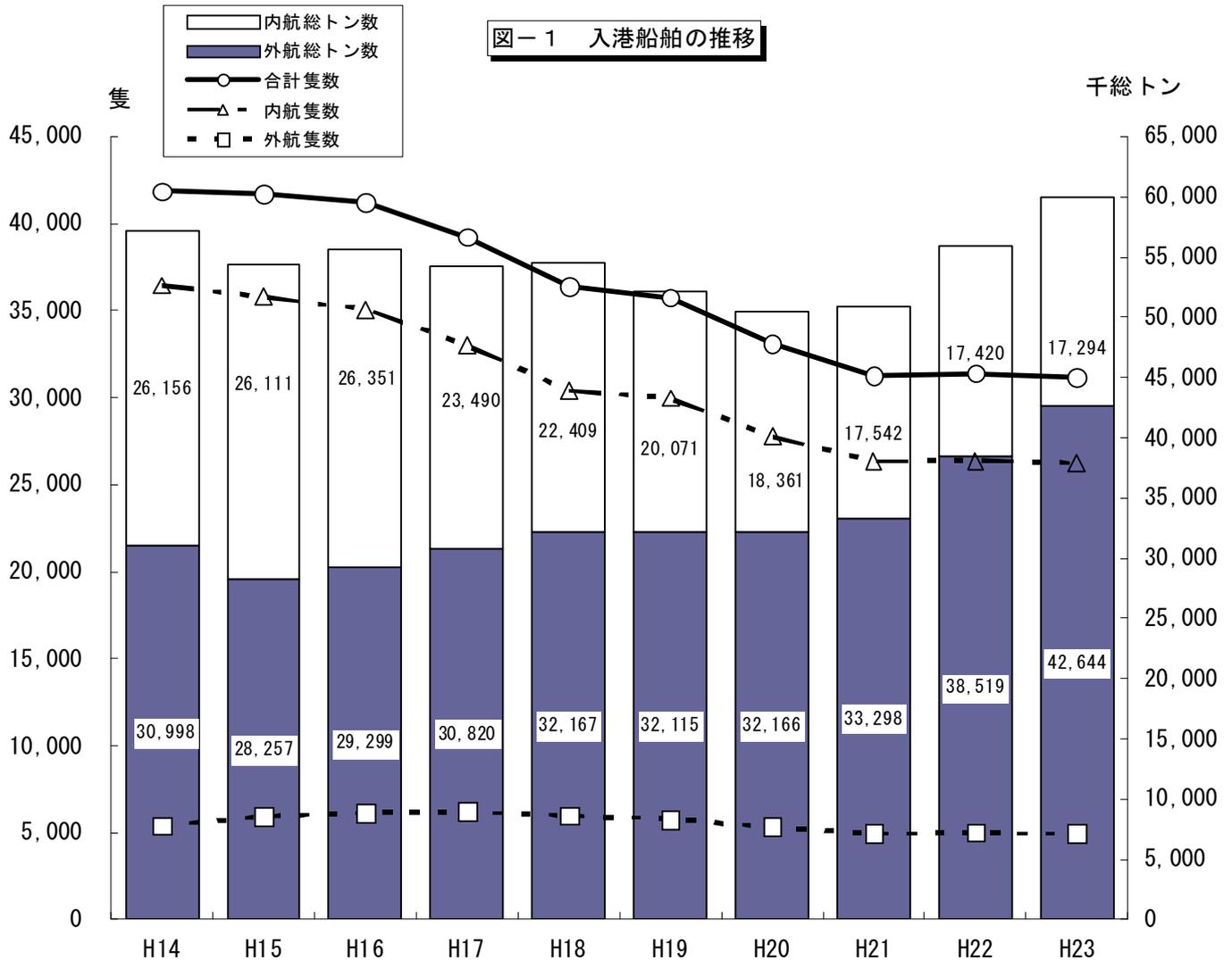


表-1 入港船舶の推移

(単位：隻、総トン)

区分	平成23年		平成22年		平成21年		平成20年		平成19年
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
外航	4,943	98.5%	5,018	101.2%	4,958	92.8%	5,345	92.6%	5,772
外航	42,644,113	110.7%	38,518,570	115.7%	33,297,945	103.5%	32,165,936	100.2%	32,114,852
内航	26,234	99.5%	26,375	100.2%	26,319	94.8%	27,763	92.6%	29,968
内航	17,294,385	99.3%	17,419,558	99.3%	17,541,738	95.5%	18,360,835	91.5%	20,070,649
総隻数	31,177	99.3%	31,393	100.4%	31,277	94.5%	33,108	92.6%	35,740
総トン数	59,938,498	107.2%	55,938,128	110.0%	50,839,683	100.6%	50,526,771	96.8%	52,185,501

2. 海上出入貨物

海上出入貨物量は、外国貿易 1,844 万トン(前年比 111.1%)、内国貿易 1,325 万トン(同 101.2%)であり、総貨物量は 3,169 万トン(同 106.8%)であった。出入別の割合及びその貨物量を見ると、輸移出は 33.1%・1,048 万トン、輸移入は 66.9%・2,121 万トンとなっており、博多港が輸移入中心の港湾であることを示している。(図-2、表-2、表-3 参照)

図-2 海上出入貨物量の推移

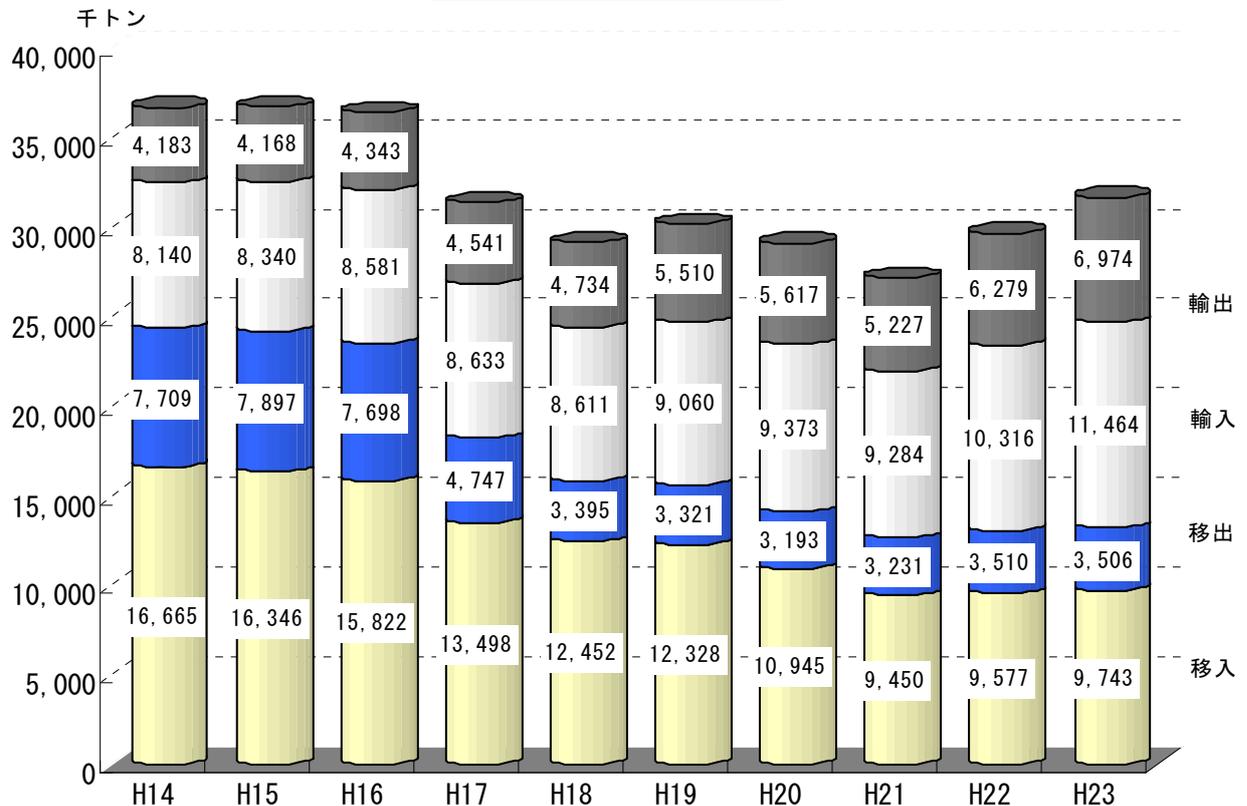


表-2 海上出入貨物量の推移

(単位：トン)

区分	平成23年		平成22年		平成21年		平成20年		平成19年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	
外国貿易	輸出	6,973,951	111.1%	6,278,546	120.1%	5,226,504	93.0%	5,616,927	101.9%	5,509,580
	輸入	11,464,392	111.1%	10,316,339	111.1%	9,283,502	99.0%	9,373,026	103.5%	9,059,731
	計	18,438,343	111.1%	16,594,885	114.4%	14,510,006	96.8%	14,989,953	102.9%	14,569,311
内国貿易	移出	3,506,250	99.9%	3,509,562	108.6%	3,230,667	101.2%	3,192,656	96.1%	3,321,488
	移入	9,743,069	101.7%	9,576,798	101.3%	9,450,175	86.3%	10,944,944	88.8%	12,328,184
	計	13,249,319	101.2%	13,086,360	103.2%	12,680,842	89.7%	14,137,600	90.3%	15,649,672
総数	輸移出	10,480,201	107.1%	9,788,108	115.7%	8,457,171	96.0%	8,809,583	99.8%	8,831,068
	輸移入	21,207,461	106.6%	19,893,137	106.2%	18,733,677	92.2%	20,317,970	95.0%	21,387,915
	計	31,687,662	106.8%	29,681,245	109.2%	27,190,848	93.4%	29,127,553	96.4%	30,218,983

※フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数は含まない。

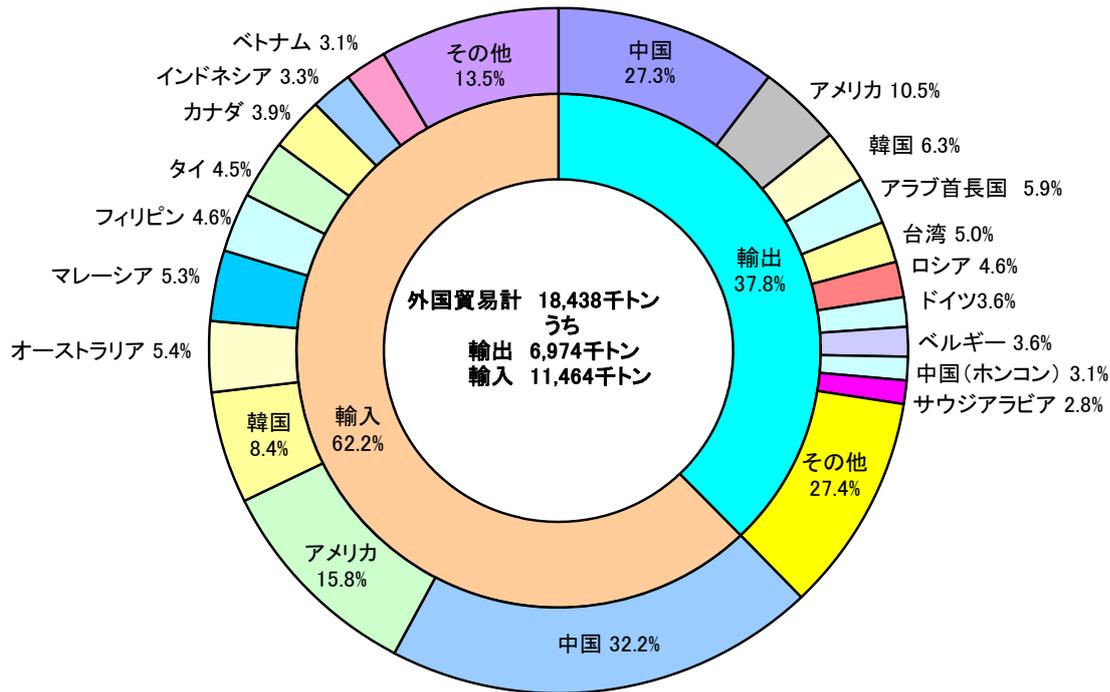
表-3 フェリー(自動車航送船)による航送車両トン数の推移

(単位：トン)

区分	平成23年		平成22年		平成21年		平成20年		平成19年
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
移出	911,615	95.0%	959,205	104.4%	919,185	93.3%	985,265	95.9%	1,027,600
移入	944,785	94.3%	1,001,800	103.0%	972,250	95.5%	1,018,275	101.9%	999,260
計	1,856,400	94.7%	1,961,005	103.7%	1,891,435	94.4%	2,003,540	98.8%	2,026,860

2-1. 外国貿易

図-3 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



2-1-1. 輸出

(1)貨物量

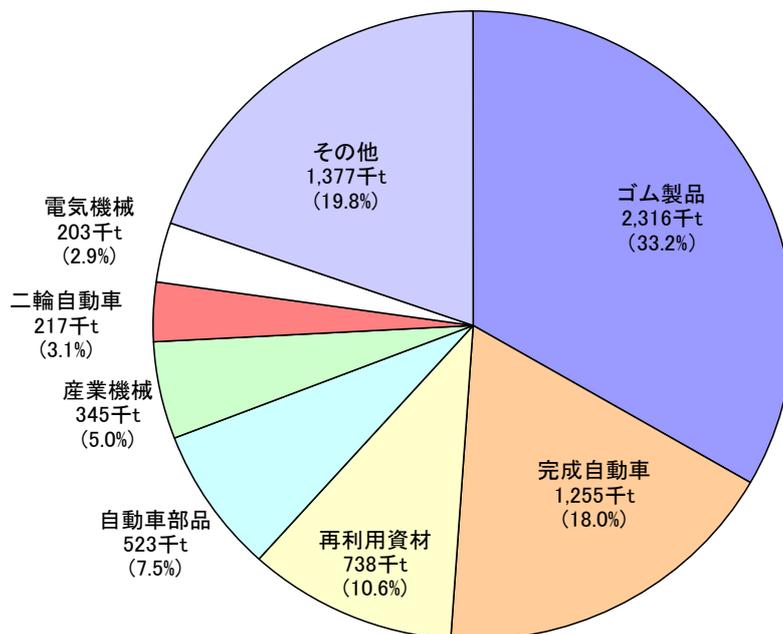
輸出貨物量は6,974千トン(前年比 111.1%)であり、外国貿易の37.8%を占めている。

〈図-3、表-2 参照〉

(2)品種別

輸出貨物量6,974千トンのうち「ゴム製品」が2,316千トン(構成比 33.2%)、「完成自動車」が1,255千トン(同 18.0%)、「再利用資材」が738千トン(同 10.6%)であった。〈図-4・5、表-4 参照〉

図-4 輸出 6,974千トン

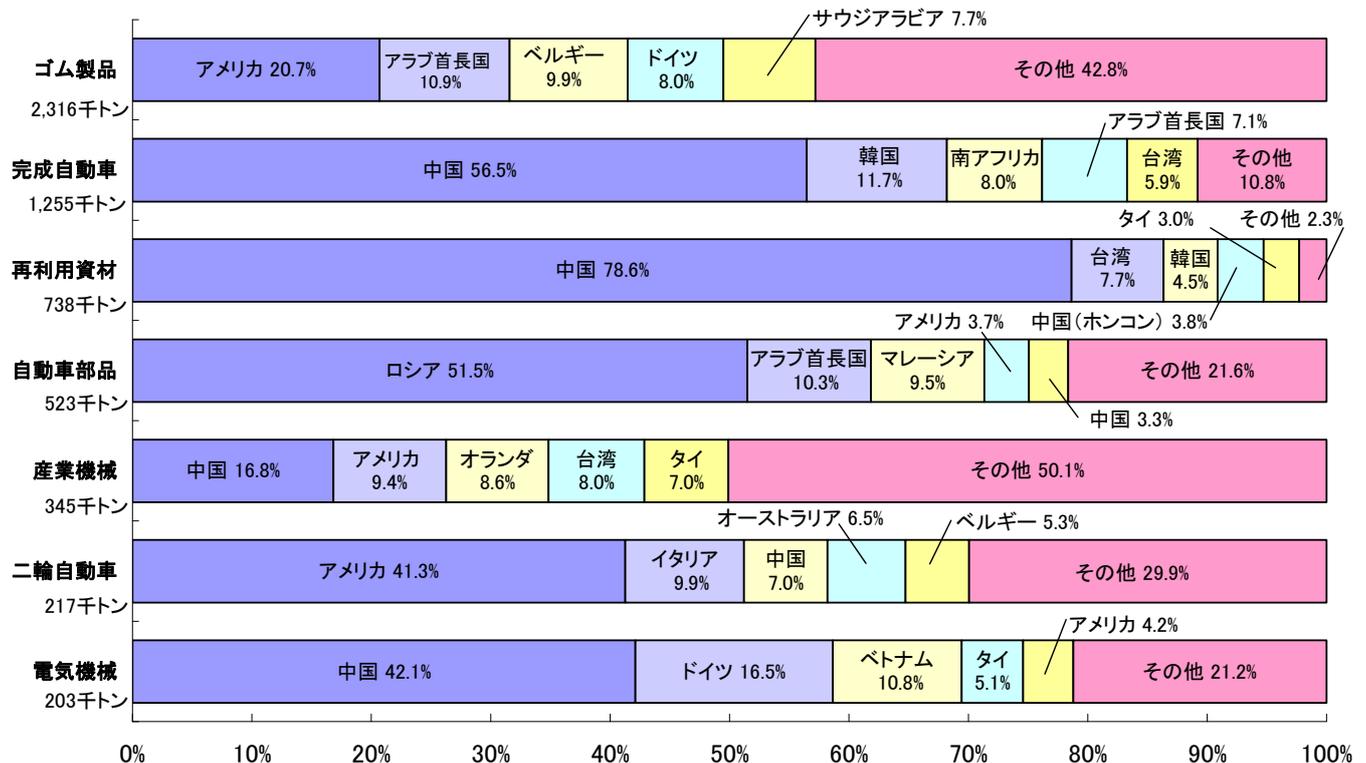


表－4 輸出 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成23年	構成比	平成22年	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	2,315,503	33.2%	1,928,618	30.7%	386,885	120.1%
2	完成自動車	1,254,882	18.0%	1,177,417	18.8%	77,465	106.6%
3	再利用資材	737,535	10.6%	746,649	11.9%	▲ 9,114	98.8%
4	自動車部品	523,148	7.5%	390,114	6.2%	133,034	134.1%
5	産業機械	345,298	5.0%	305,588	4.9%	39,710	113.0%
6	二輪自動車	216,844	3.1%	176,674	2.8%	40,170	122.7%
7	電気機械	203,382	2.9%	139,945	2.2%	63,437	145.3%
	上記以外その他	1,377,359	19.8%	1,413,541	22.5%	▲ 36,182	97.4%
	合 計	6,973,951	100.0%	6,278,546	100.0%	695,405	111.1%

図－5 輸出上位7品種の相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が1,902千トン（構成比 27.3%）、アメリカが735千トン（同 10.5%）、韓国が440千トン（同 6.3%）、以下アラブ首長国、台湾と続いている。（図－3、表－5 参照）

表－５ 輸出国・地域別取扱量（上位10ヵ国・地域）

（単位：トン）

順位	最終船卸国・地域名	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	中国	1,902,065	27.3%	2,001,295	31.9%	▲ 99,230	95.0%
2	アメリカ	734,700	10.5%	471,083	7.5%	263,617	156.0%
3	韓国	440,296	6.3%	442,923	7.1%	▲ 2,627	99.4%
4	アラブ首長国	409,188	5.9%	403,409	6.4%	5,779	101.4%
5	台湾	345,649	5.0%	298,303	4.8%	47,346	115.9%
6	ロシア	322,317	4.6%	138,519	2.2%	183,798	232.7%
7	ドイツ	253,730	3.6%	159,541	2.5%	94,189	159.0%
8	ベルギー	251,271	3.6%	182,443	2.9%	68,828	137.7%
9	中国（ホンコン）	212,741	3.1%	276,017	4.4%	▲ 63,276	77.1%
10	サウジアラビア	193,308	2.8%	157,101	2.5%	36,207	123.0%
	上記以外その他	1,908,686	27.4%	1,747,912	27.8%	160,774	109.2%
	合計	6,973,951	100.0%	6,278,546	100.0%	695,405	111.1%

2-1-2. 輸入

(1)貨物量

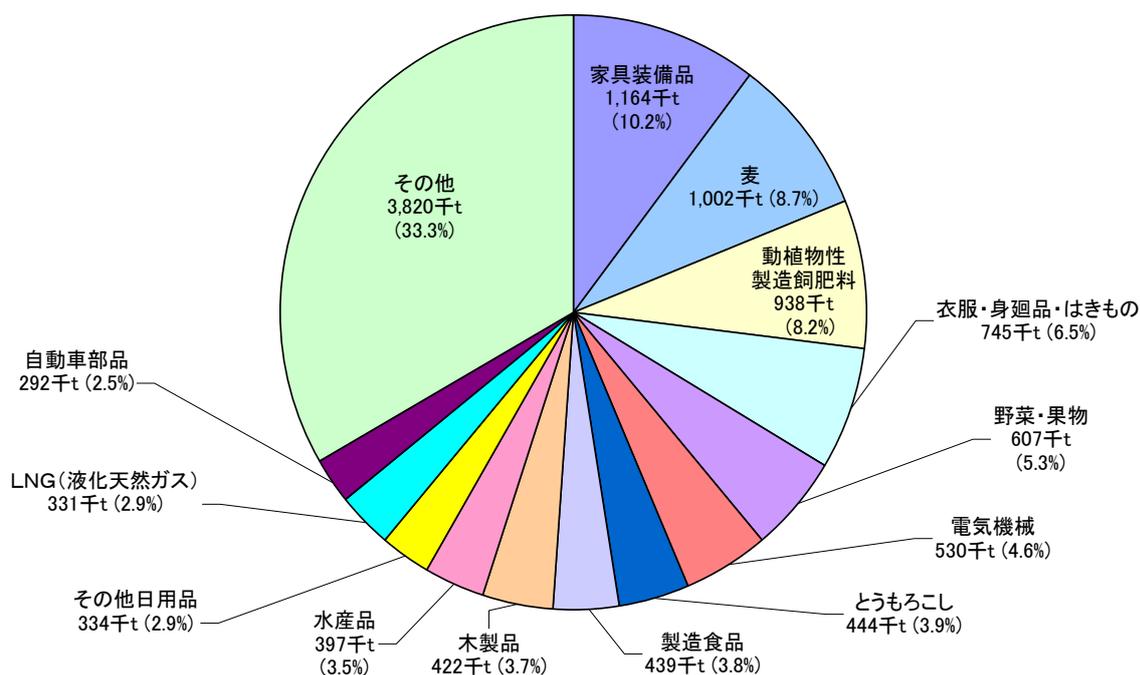
輸入貨物量は11,464千トン（前年比 111.1%）であり、外国貿易の62.2%を占めている。

〈図－3、表－2 参照〉

(2)品種別

輸入貨物量11,464千トンのうち「家具装備品」が1,164千トン（構成比 10.2%）、「麦」が1,002千トン（同 8.7%）、「動植物性製造飼肥料」が938千トン（同 8.2%）であった。〈図－6・7、表－6 参照〉

図－6 輸入 11,464千トン

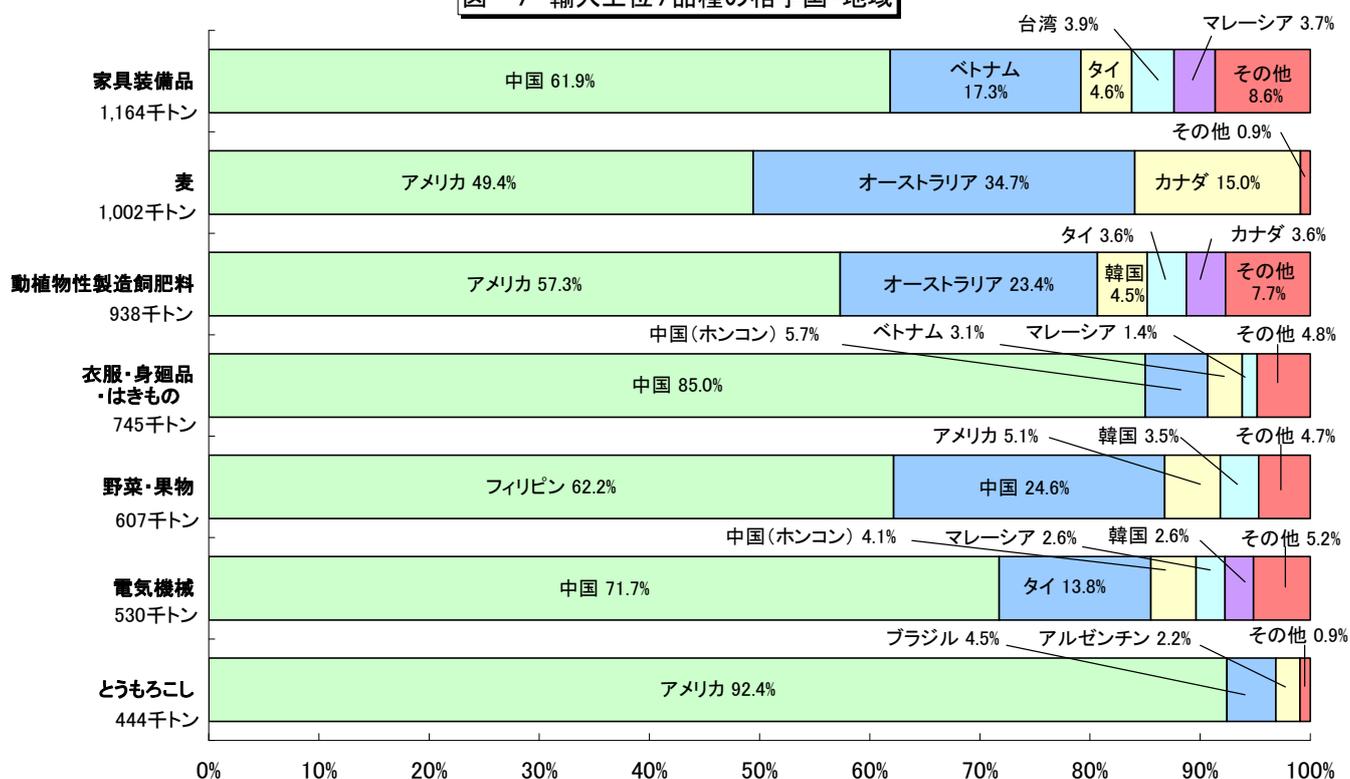


表－6 輸入 品種別取扱量（上位7品種）

（単位：トン）

順位	品 種	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	家具装備品	1,164,383	10.2%	1,051,006	10.2%	113,377	110.8%
2	麦	1,001,629	8.7%	726,539	7.0%	275,090	137.9%
3	動植物性製造飼肥料	937,600	8.2%	939,482	9.1%	▲ 1,882	99.8%
4	衣服・身廻品・はきもの	744,946	6.5%	655,659	6.4%	89,287	113.6%
5	野菜・果物	607,105	5.3%	589,687	5.7%	17,418	103.0%
6	電気機械	530,248	4.6%	467,491	4.5%	62,757	113.4%
7	とうもろこし	443,820	3.9%	503,270	4.9%	▲ 59,450	88.2%
	上記以外その他	6,034,661	52.6%	5,383,205	52.2%	651,456	112.1%
	合 計	11,464,392	100.0%	10,316,339	100.0%	1,148,053	111.1%

図－7 輸入上位7品種の相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が3,697千トン（構成比 32.2%）、アメリカが1,815千トン（同 15.8%）、韓国が968千トン（同 8.4%）、以下オーストラリア、マレーシアと続いている。（図－3、表－7 参照）

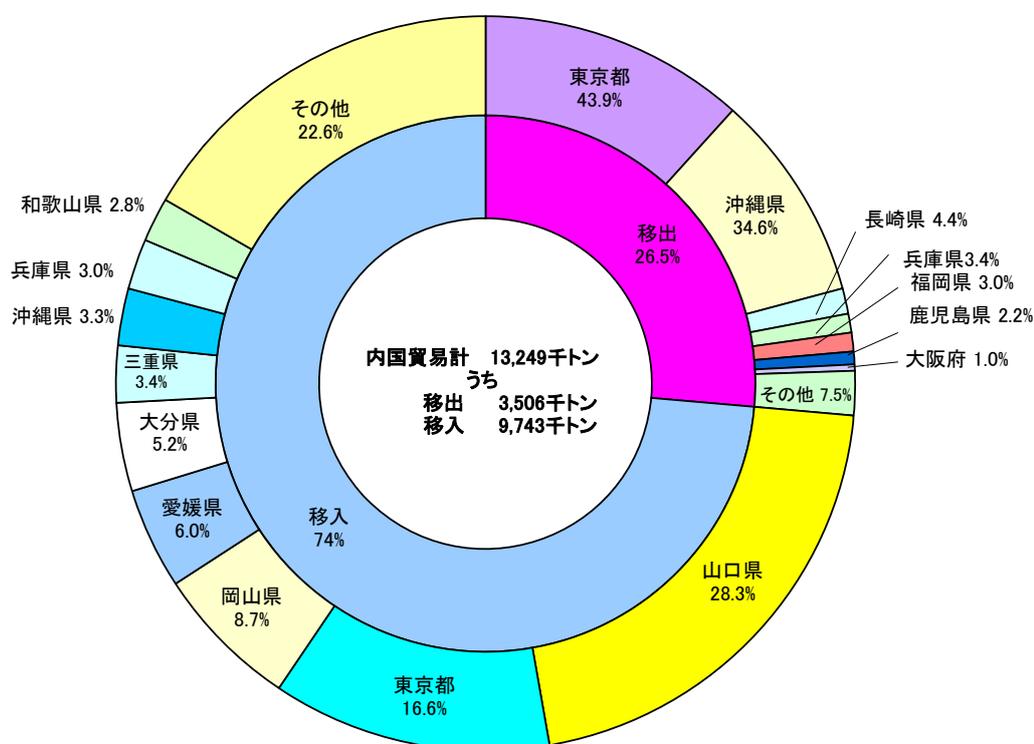
表-7 輸入 国・地域別取扱量（上位10カ国・地域）

（単位：トン）

順位	最初船積国・地域名	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	中国	3,696,961	32.2%	3,294,690	31.9%	402,271	112.2%
2	アメリカ	1,814,614	15.8%	1,661,897	16.1%	152,717	109.2%
3	韓国	967,582	8.4%	895,237	8.7%	72,345	108.1%
4	オーストラリア	623,171	5.4%	605,055	5.9%	18,116	103.0%
5	マレーシア	603,250	5.3%	547,039	5.3%	56,211	110.3%
6	フィリピン	528,665	4.6%	502,956	4.9%	25,709	105.1%
7	タイ	513,583	4.5%	422,460	4.1%	91,123	121.6%
8	カナダ	443,229	3.9%	395,390	3.8%	47,839	112.1%
9	インドネシア	376,906	3.3%	331,896	3.2%	45,010	113.6%
10	ベトナム	349,680	3.1%	292,450	2.8%	57,230	119.6%
	上記以外その他	1,546,751	13.5%	1,367,269	13.3%	179,482	113.1%
	合 計	11,464,392	100.0%	10,316,339	100.0%	1,148,053	111.1%

2-2. 内国貿易

図-8 内国貿易（移出入相手都道府県別）



※ 図-8・10・12及び表-9・11については、仕出・仕向港都道府県に基づく集計である。

2-2-1. 移出

(1)貨物量

移出貨物量は3,506千トン(前年比99.9%)であり、内国貿易の26.5%を占めている。

〈表-2、図-8 参照〉

(2)品種別

移出貨物量3,506千トンのうち「取合せ品」が636千トン(構成比18.1%)、「その他輸送機械」が577千トン(同16.5%)、「完成自動車」が493千トン(同14.1%)であった。〈図-9・10、表-8 参照〉

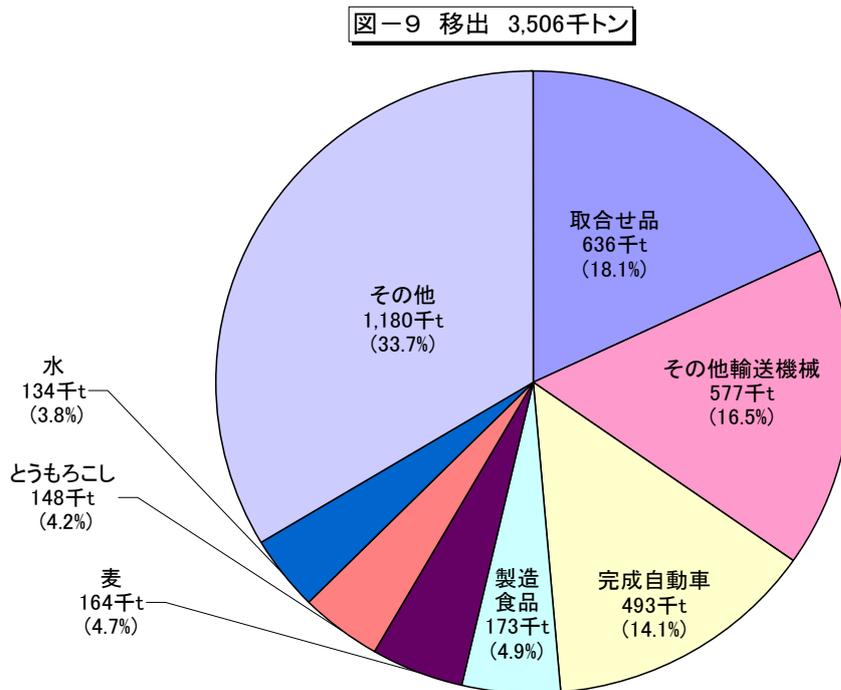
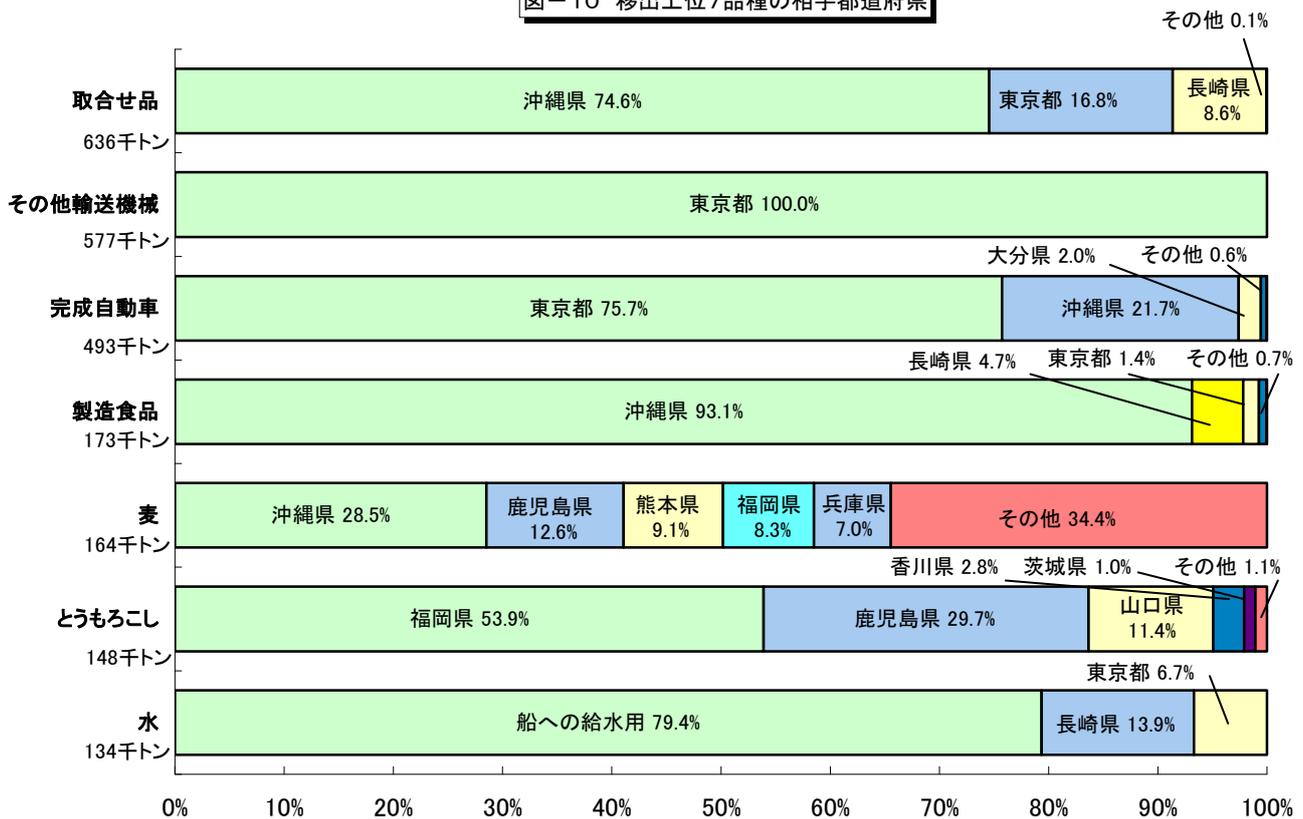


表-8 移出 品種別取扱量 (上位7品種)

(単位: トン)

順位	品 種	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	取合せ品	636,145	18.1%	650,691	18.5%	▲ 14,546	97.8%
2	その他輸送機械	576,800	16.5%	802,506	22.9%	▲ 225,706	71.9%
3	完成自動車	493,484	14.1%	366,249	10.4%	127,235	134.7%
4	製造食品	173,400	4.9%	166,690	4.7%	6,710	104.0%
5	麦	164,172	4.7%	82,587	2.4%	81,585	198.8%
6	とうもろこし	147,865	4.2%	175,261	5.0%	▲ 27,396	84.4%
7	水	134,261	3.8%	147,889	4.2%	▲ 13,628	90.8%
	上記以外その他	1,180,123	33.7%	1,117,689	31.8%	62,434	105.6%
	合 計	3,506,250	100.0%	3,509,562	100.0%	▲ 3,312	99.9%

図-10 移出上位7品種の相手都道府県



(3) 主要都道府県別

移出相手都道府県別では、東京都が1,540千トン(構成比43.9%)、沖縄県が1,212千トン(同34.6%)、長崎県が154千トン(同4.4%)、以下兵庫県、福岡県内と続いている。(図-8、表-9 参照)

表-9 移出 都道府県別取扱量 (上位7都道府県)

(単位: トン)

順位	仕向都道府県名	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	東京都	1,539,953	43.9%	1,586,274	45.2%	▲ 46,321	97.1%
2	沖縄県	1,211,651	34.6%	1,145,116	32.6%	▲ 66,535	105.8%
3	長崎県	154,021	4.4%	169,403	4.8%	▲ 15,382	90.9%
4	兵庫県	118,491	3.4%	148,115	4.2%	▲ 29,624	80.0%
5	福岡県	105,846	3.0%	105,752	3.0%	▲ 94	100.1%
6	鹿児島県	77,992	2.2%	81,196	2.3%	▲ 3,204	96.1%
7	大阪府	34,353	1.0%	28,328	0.8%	▲ 6,025	121.3%
	上記以外その他	263,943	7.5%	245,378	7.0%	▲ 18,565	107.6%
	合計	3,506,250	100.0%	3,509,562	100.0%	▲ 3,312	99.9%

2-2-2. 移入

(1)貨物量

移入貨物量は9,743千トン(前年比 101.7%)であり、内国貿易の73.5%を占めている。

(表-2、図-8 参照)

(2)品種別

移入貨物量9,743千トンのうち「石油製品」が3,974千トン(構成比 40.8%)、「完成自動車」が1,315千トン(同 13.5%)、「砂利・砂」が1,065千トン(同 10.9%)であった。(図-11・12、表-10 参照)

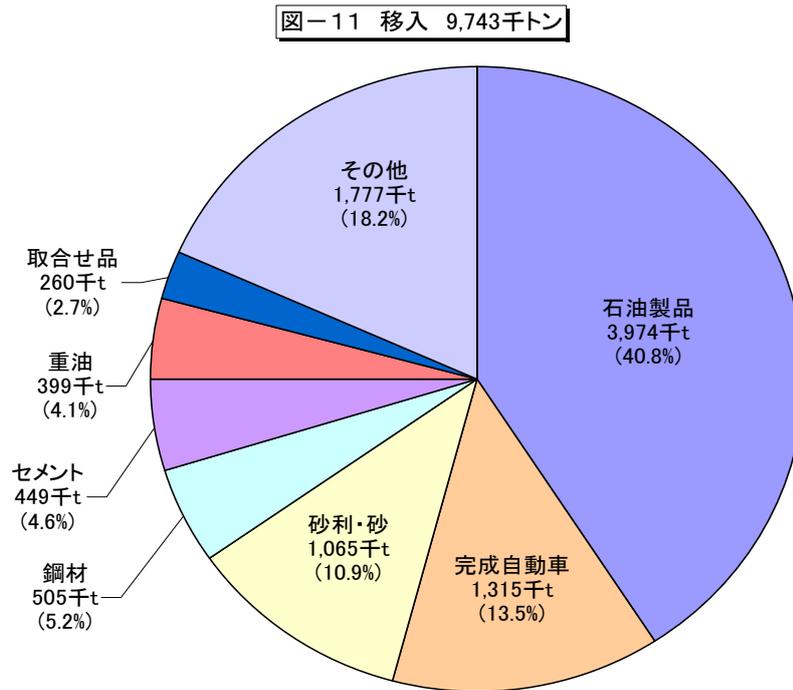
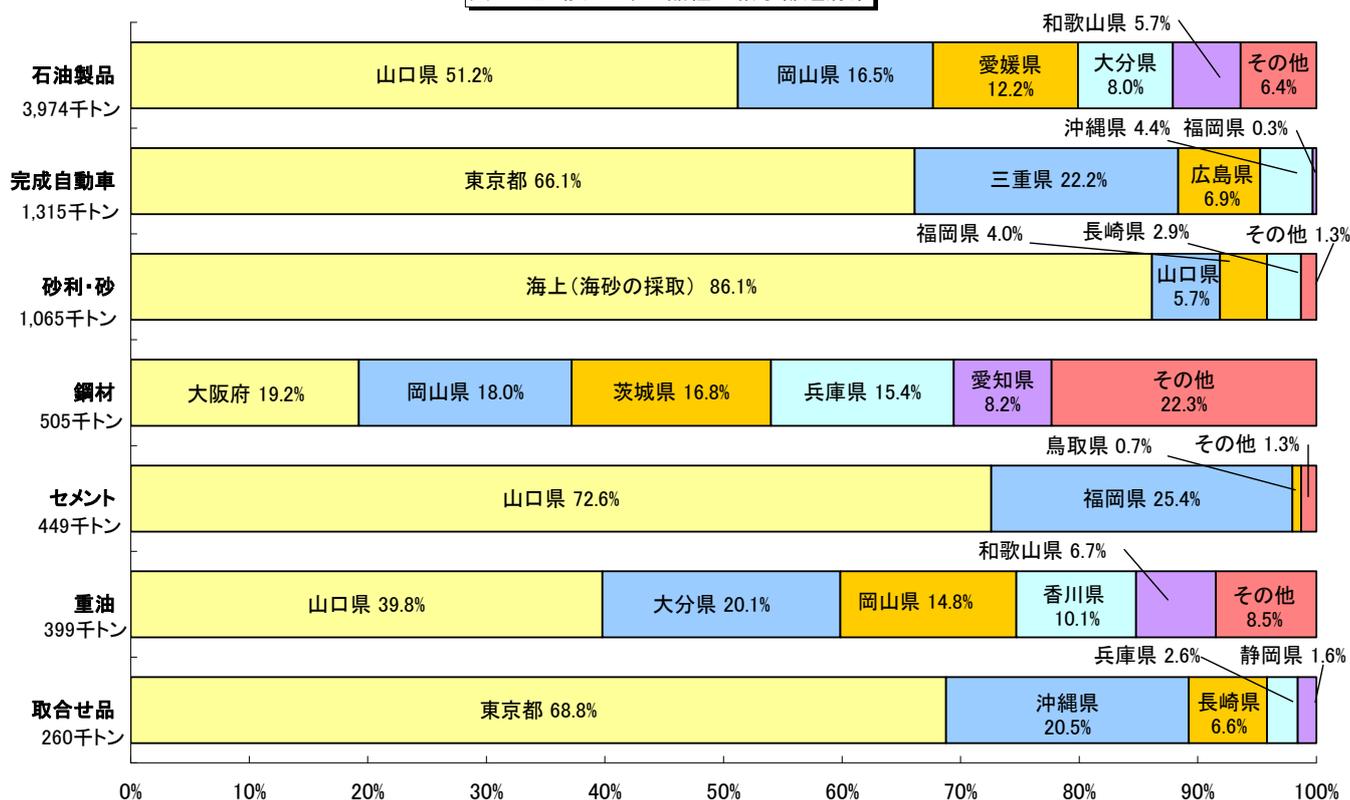


表-10 移入 品種別取扱量 (上位7品種)

(単位: トン)

順位	品 種	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	石油製品	3,973,709	40.8%	3,902,618	40.8%	71,091	101.8%
2	完成自動車	1,314,745	13.5%	1,439,623	15.0%	▲ 124,878	91.3%
3	砂利・砂	1,065,348	10.9%	1,097,674	11.5%	▲ 32,326	97.1%
4	鋼材	504,886	5.2%	482,185	5.0%	22,701	104.7%
5	セメント	449,279	4.6%	401,803	4.2%	47,476	111.8%
6	重油	398,890	4.1%	419,380	4.4%	▲ 20,490	95.1%
7	取合せ品	259,662	2.7%	247,213	2.6%	12,449	105.0%
	上記以外その他	1,776,550	18.2%	1,586,302	16.6%	190,248	112.0%
	合 計	9,743,069	100.0%	9,576,798	100.0%	166,271	101.7%

図-12 移入上位7品種の相手都道府県



(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、山口県が2,758千トン(構成比28.3%)、東京都が1,619千トン(同16.6%)、岡山県が850千トン(同8.7%)、以下愛媛県、大分県と続いている。(図-8、表-11参照)

表-11 移入 都道府県別取扱量(上位7都道府県)

(単位:トン)

順位	仕出都道府県名	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	山口県	2,757,996	28.3%	2,409,205	25.2%	348,791	114.5%
2	東京都	1,619,275	16.6%	1,624,592	17.0%	▲ 5,317	99.7%
3	岡山県	850,468	8.7%	1,148,450	12.0%	▲ 297,982	74.1%
4	愛媛県	587,883	6.0%	481,205	5.0%	106,678	122.2%
5	大分県	509,670	5.2%	398,009	4.2%	111,661	128.1%
6	三重県	331,891	3.4%	396,441	4.1%	▲ 64,550	83.7%
7	沖縄県	318,448	3.3%	278,481	2.9%	39,967	114.4%
	上記以外その他	2,767,438	28.4%	2,840,415	29.7%	▲ 72,977	97.4%
	合計	9,743,069	100.0%	9,576,798	100.0%	166,271	101.7%

3. 国際海上コンテナ取扱個数

国際海上コンテナ取扱個数は、850,568TEU(前年比 113.6%)であった。なお、ダイレクトコンテナは814,094 TEU(同 113.2%)、フィーダーコンテナは36,474TEU(同 124.9%)であった。

〈図-13、表-12 参照〉

図-13 国際海上コンテナ取扱個数の推移

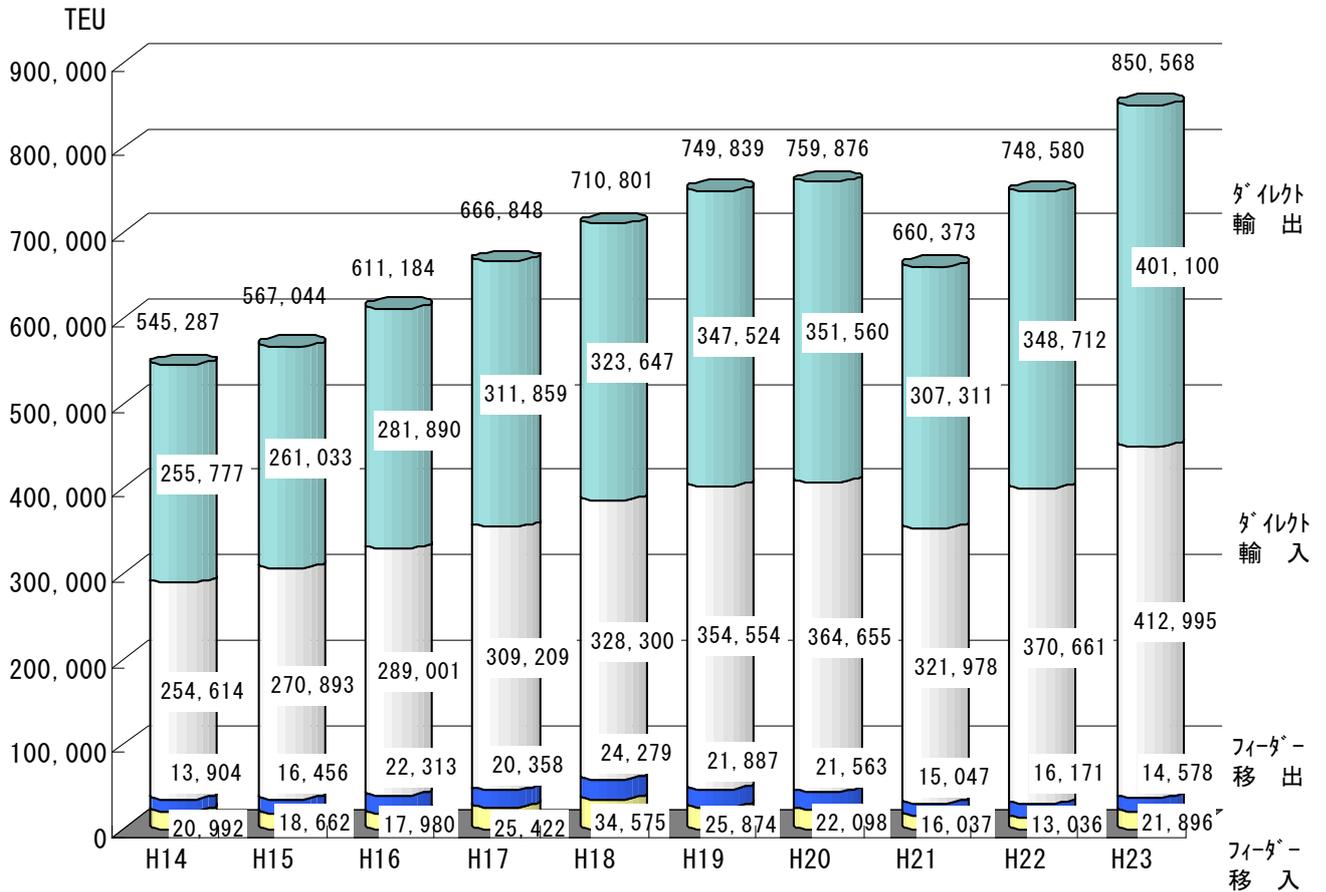


表-12 国際海上コンテナ取扱個数の推移

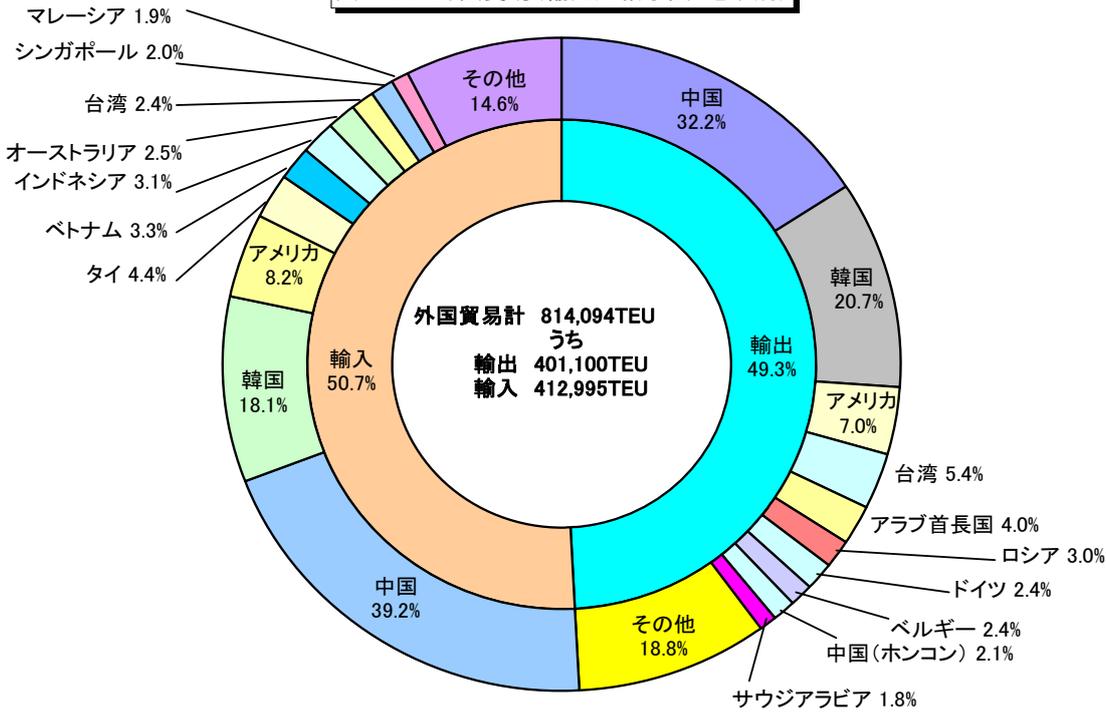
(単位: TEU)

区分		平成23年		平成22年		平成21年		平成20年		平成19年
		数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量
外国貿易 (ダイレクト)	輸出	401,100	115.0%	348,712	113.5%	307,311	87.4%	351,560	101.2%	347,524
	輸入	412,995	111.4%	370,661	115.1%	321,978	88.3%	364,655	102.8%	354,554
	計	814,094	113.2%	719,373	114.3%	629,289	87.9%	716,215	102.0%	702,078
内国貿易 (フィーダー)	移出	14,578	90.1%	16,171	107.5%	15,047	69.8%	21,563	98.5%	21,887
	移入	21,896	168.0%	13,036	81.3%	16,037	72.6%	22,098	85.4%	25,874
	計	36,474	124.9%	29,207	94.0%	31,084	71.2%	43,661	91.4%	47,761
総数	輸移出	415,678	113.9%	364,883	113.2%	322,358	86.4%	373,123	101.0%	369,411
	輸移入	434,891	113.3%	383,697	113.5%	338,016	87.4%	386,753	101.7%	380,428
	計	850,568	113.6%	748,580	113.4%	660,373	86.9%	759,876	101.3%	749,839

※ 実入コンテナと空コンテナの合計値。

3-1. 外国貿易(ダイレクト)

図-14 外国貿易(輸出入相手国・地域別)



3-1-1. 輸出

(1)コンテナ取扱個数

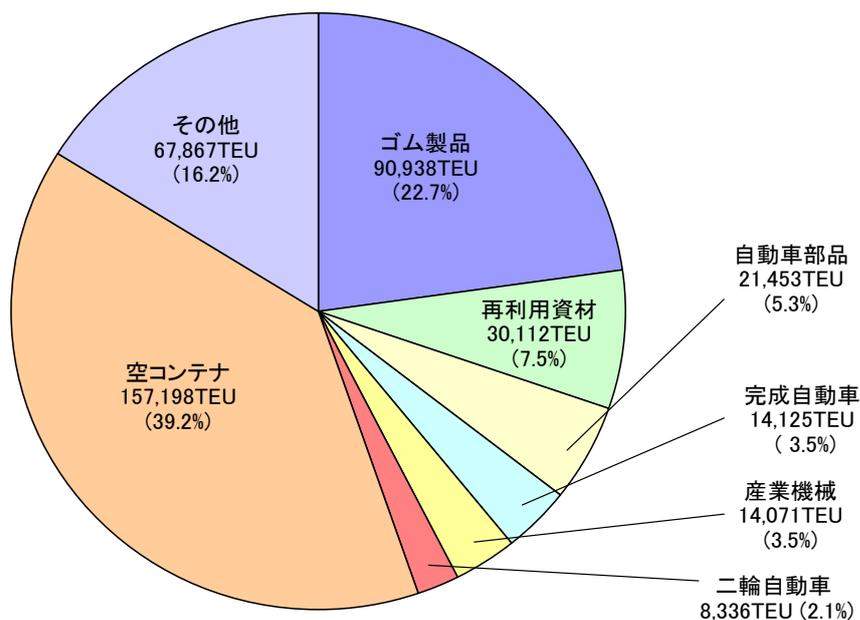
輸出コンテナ取扱個数は401,100TEU(前年比 115.0%)であり、外国貿易の 49.3%を占めている。

〈図-14、表-12 参照〉

(2)品種別

輸出コンテナ取扱個数401,100TEUのうち「ゴム製品」が90,938TEU(構成比 22.7%)、「再利用資材」が30,112TEU(同 7.5%)、「自動車部品」が21,453TEU(同 5.3%)であった。〈図-15・16、表-13 参照〉

図-15 輸出 401,110TEU

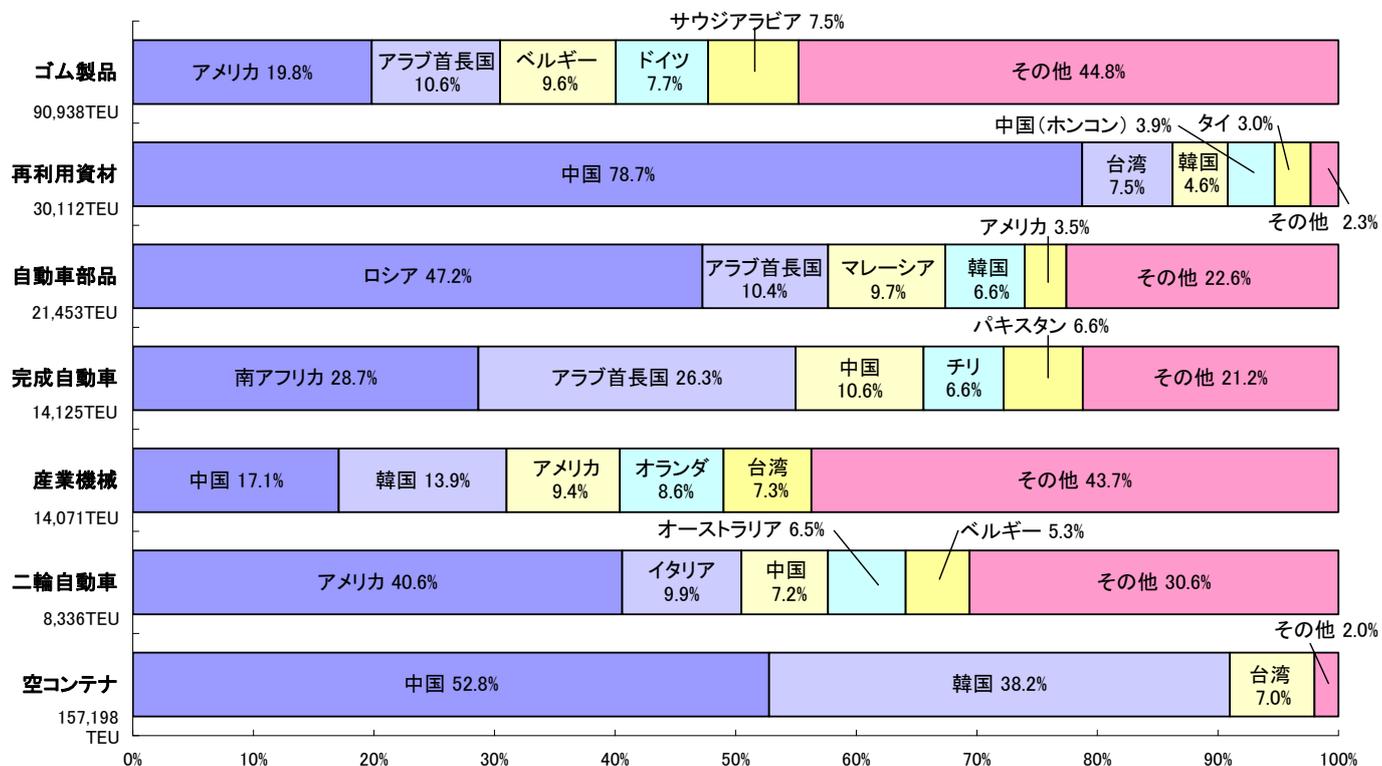


表－13 輸出 品種別コンテナ取扱個数（上位6品種及び空コンテナ）

（単位：TEU）

順位	品 種	平成23年	構成比	平成22年	構成比	同期増減	同期比
1	ゴム製品	90,938	22.7%	80,385	23.1%	10,553	113.1%
2	再利用資材	30,112	7.5%	31,145	8.9%	▲ 1,033	96.7%
3	自動車部品	21,453	5.3%	17,676	5.1%	3,777	121.4%
4	完成自動車	14,125	3.5%	10,401	3.0%	3,724	135.8%
5	産業機械	14,071	3.5%	11,901	3.4%	2,170	118.2%
6	二輪自動車	8,336	2.1%	7,379	2.1%	958	113.0%
	空コンテナ	157,198	39.2%	127,900	36.7%	29,297	122.9%
	上記以外その他	64,867	16.2%	61,924	17.8%	2,943	104.8%
	合 計	401,100	100.0%	348,712	100.0%	52,388	115.0%

図－16 輸出上位6品種及び空コンテナの相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸出相手国・地域別では、中国が129,149TEU(構成比 32.2%)、韓国が83,003TEU(同 20.7%)、アメリカが27,995TEU(同 7.0%)、以下台湾、アラブ首長国と続いている。(図－14、表－14 参照)

表－14 輸出国・地域別コンテナ取扱個数（上位10カ国・地域）

（単位：TEU）

順位	最終船卸国・地域名	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	中国	129,149	32.2%	115,294	33.1%	13,855	112.0%
2	韓国	83,003	20.7%	76,515	21.9%	6,487	108.5%
3	アメリカ	27,995	7.0%	17,835	5.1%	10,160	157.0%
4	台湾	21,753	5.4%	17,201	4.9%	4,552	126.5%
5	アラブ首長国	16,162	4.0%	16,656	4.8%	▲ 494	97.0%
6	ロシア	12,223	3.0%	5,217	1.5%	7,006	234.3%
7	ドイツ	9,792	2.4%	6,370	1.8%	3,422	153.7%
8	ベルギー	9,606	2.4%	6,895	2.0%	2,711	139.3%
9	中国（ホンコン）	8,589	2.1%	11,876	3.4%	▲ 3,287	72.3%
10	サウジアラビア	7,409	1.8%	6,127	1.8%	1,282	120.9%
	上記以外その他	75,419	18.8%	68,726	19.7%	6,693	109.7%
	合計	401,100	100.0%	348,712	100.0%	52,388	115.0%

3-1-2. 輸入

(1)コンテナ取扱個数

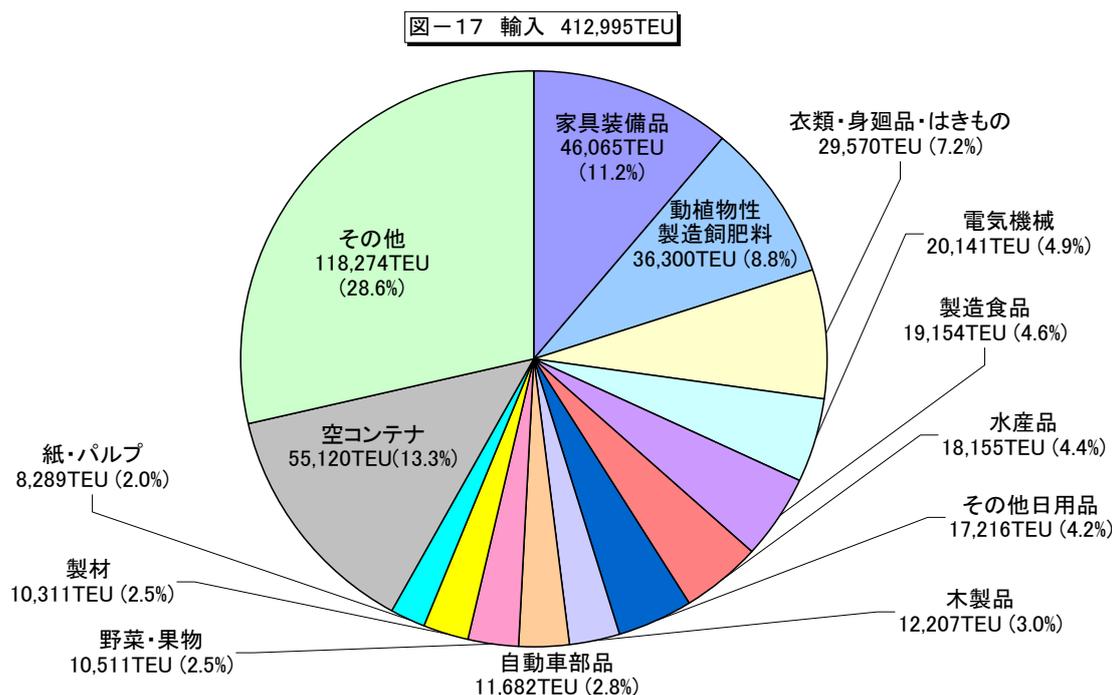
輸入コンテナ取扱個数は412,995TEU(前年比 111.4%)であり、外国貿易の 50.7%を占めている。

〈図－14、表－12 参照〉

(2)品種別

輸入コンテナ取扱個数 412,995TEU のうち「家具装備品」が 46,065TEU(構成比 11.2%)、「動植物性製造飼肥料」が 36,300TEU(同 8.8%)、「衣類・身廻品・はきもの」が 29,570TEU(同 7.2%)であった。

〈図－17、表－15 参照〉

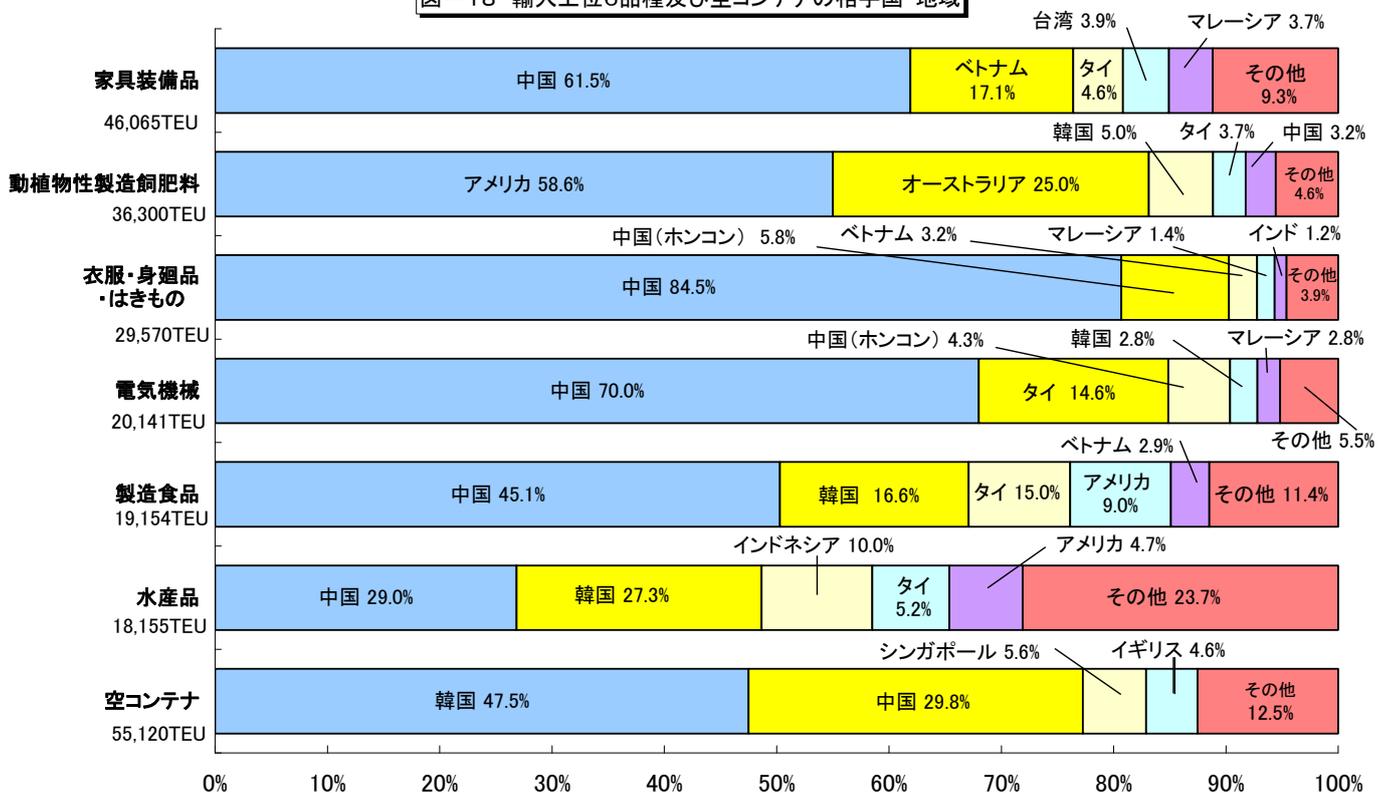


表－15 輸入 品種別コンテナ取扱個数（上位6品種及び空コンテナ）

（単位：TEU）

順位	品 種	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	家具装備品	46,065	11.2%	41,757	11.3%	4,308	110.3%
2	動植物性製造飼肥料	36,300	8.8%	36,868	9.9%	▲ 568	98.5%
3	衣服・身廻品・はきもの	29,570	7.2%	25,810	7.0%	3,760	114.6%
4	電気機械	20,141	4.9%	17,486	4.7%	2,655	115.2%
5	製造食品	19,154	4.6%	17,142	4.6%	2,012	111.7%
6	水産品	18,155	4.4%	16,518	4.5%	1,638	109.9%
	空コンテナ	55,120	13.3%	50,129	13.5%	4,991	110.0%
	上記以外その他	188,490	45.6%	164,952	44.5%	23,539	114.3%
	合 計	412,995	100.0%	370,661	100.0%	42,334	111.4%

図－18 輸入上位6品種及び空コンテナの相手国・地域



(3)主要国・地域別

輸入相手国・地域別では、中国が 161,842TEU(構成比 39.2%)、韓国が 74,954TEU(同 18.1%)、アメリカが 33,749TEU(同 8.2%)、以下タイ、ベトナムと続いている。〈図－14、表－16 参照〉

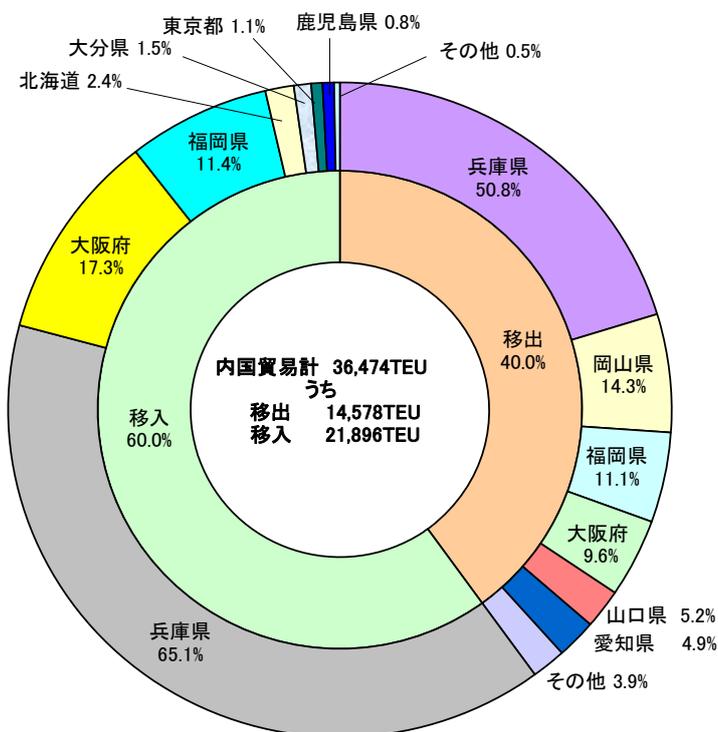
表－１６ 輸入 国・地域別コンテナ取扱個数（上位10ヵ国・地域）

（単位：TEU）

順位	最初船積国・地域名	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	中国	161,842	39.2%	131,581	35.5%	30,261	123.0%
2	韓国	74,954	18.1%	85,359	23.0%	▲ 10,405	87.8%
3	アメリカ	33,749	8.2%	30,501	8.2%	3,248	110.6%
4	タイ	18,285	4.4%	16,610	4.5%	1,675	110.1%
5	ベトナム	13,834	3.3%	10,821	2.9%	3,013	127.8%
6	インドネシア	12,979	3.1%	11,335	3.1%	1,644	114.5%
7	オーストラリア	10,481	2.5%	12,093	3.3%	▲ 1,612	86.7%
8	台湾	10,072	2.4%	8,276	2.2%	1,796	121.7%
9	シンガポール	8,326	2.0%	6,993	1.9%	1,333	119.1%
10	マレーシア	7,991	1.9%	6,893	1.9%	1,098	115.9%
	上記以外その他	60,482	14.6%	50,199	13.5%	10,283	120.5%
	合計	412,995	100.0%	370,661	100.0%	42,334	111.4%

3-2. 内国貿易(フィーダー)

図－19 内国貿易(移出入相手都道府県別)



※ 図－19・21・23 及び表－18・20 については、仕出・仕向港都道府県に基づく集計である。

3-2-1. 移出

(1)コンテナ取扱個数

移出コンテナ取扱個数は14,578TEU(前年比90.1%)であり、内国貿易の40.0%を占めている。

〈表-12、図-19 参照〉

(2)品種別

移出コンテナ取扱個数14,578TEUのうち「自動車部品」が1,723TEU(構成比11.8%)、「ゴム製品」が1,077TEU(同7.4%)、「二輪自動車」が512TEU(同3.5%)であった。〈図-20・21、表-17 参照〉

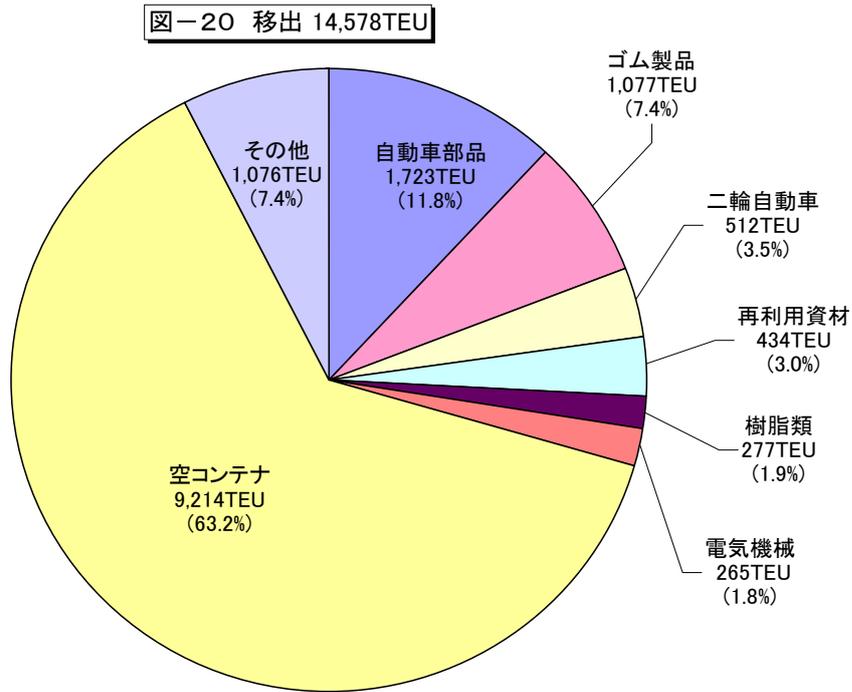
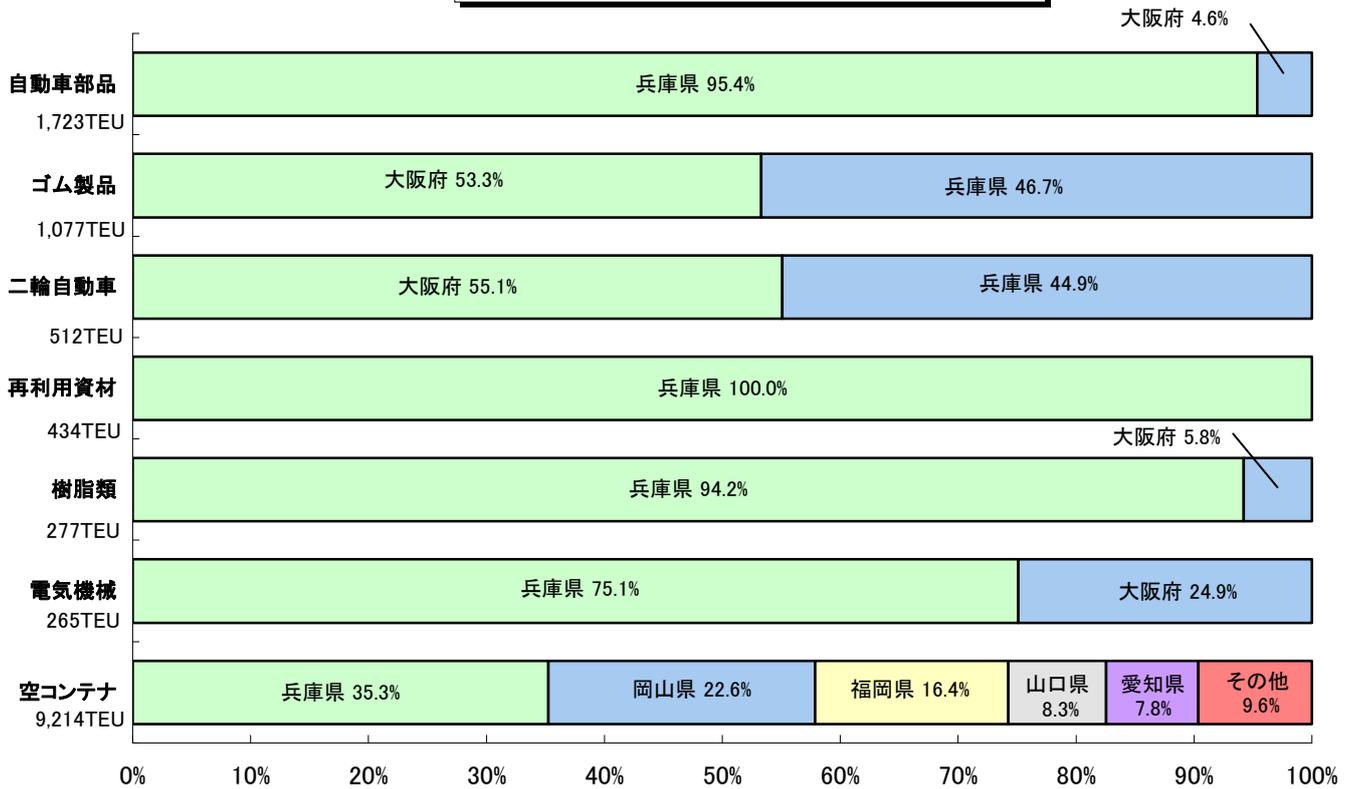


表-17 移出 品種別コンテナ取扱個数 (上位6品種及び空コンテナ)

(単位: TEU)

順位	品 種	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	自動車部品	1,723	11.8%	503	3.1%	1,220	342.5%
2	ゴム製品	1,077	7.4%	2,233	13.8%	▲ 1,156	48.2%
3	二輪自動車	512	3.5%	1,370	8.5%	▲ 858	37.4%
4	再利用資材	434	3.0%	106	0.7%	328	409.4%
5	樹脂類	277	1.9%	103	0.6%	174	268.9%
6	電気機械	265	1.8%	362	2.2%	▲ 97	73.2%
	空コンテナ	9,214	63.2%	9,314	57.6%	▲ 100	98.9%
	上記以外その他	1,076	7.4%	2,180	13.5%	▲ 1,104	49.4%
	合 計	14,578	100.0%	16,171	100.0%	▲ 1,593	90.1%

図-21 移出上位6品種及び空コンテナの相手都道府県



(3)主要都道府県別

移出相手都道府県別では、兵庫県が7,409TEU(構成比 50.8%)、岡山県が2,084TEU(同 14.3%)、福岡県が1,624TEU(同 11.1%)、以下大阪府、山口県と続いている。(図-19、表-18 参照)

表-18 移出 都道府県別コンテナ取扱個数(上位7都道府県)

(単位: TEU)

順位	仕向都道府県名	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	兵庫県	7,409	50.8%	8,059	49.8%	▲ 650	91.9%
2	岡山県	2,084	14.3%	549	3.4%	1,535	379.6%
3	福岡県	1,624	11.1%	1,492	9.2%	132	108.8%
4	大阪府	1,401	9.6%	1,322	8.2%	79	106.0%
5	山口県	765	5.2%	3,727	23.0%	▲ 2,962	20.5%
6	愛知県	720	4.9%	660	4.1%	60	109.1%
7	神奈川県	220	1.5%	12	0.1%	208	1833.3%
	上記以外その他	355	2.4%	350	2.2%	5	101.4%
	合計	14,578	100.0%	16,171	100.0%	▲ 1,593	90.1%

3-2-2. 移入

(1)コンテナ取扱個数

移入コンテナ取扱個数は 21,896TEU(前年比 168.0%)であり、内国貿易の 60.0%を占めている。

〈表-12、図-19 参照〉

(2)品種別

移入コンテナ取扱個数 21,896TEUのうち「ゴム製品」が2,217TEU(構成比 10.1%)、「製造食品」が1,010TEU(同 4.6%)、「その他畜産品」が567TEU(同 2.6%)であった。〈図-22・23、表-19 参照〉

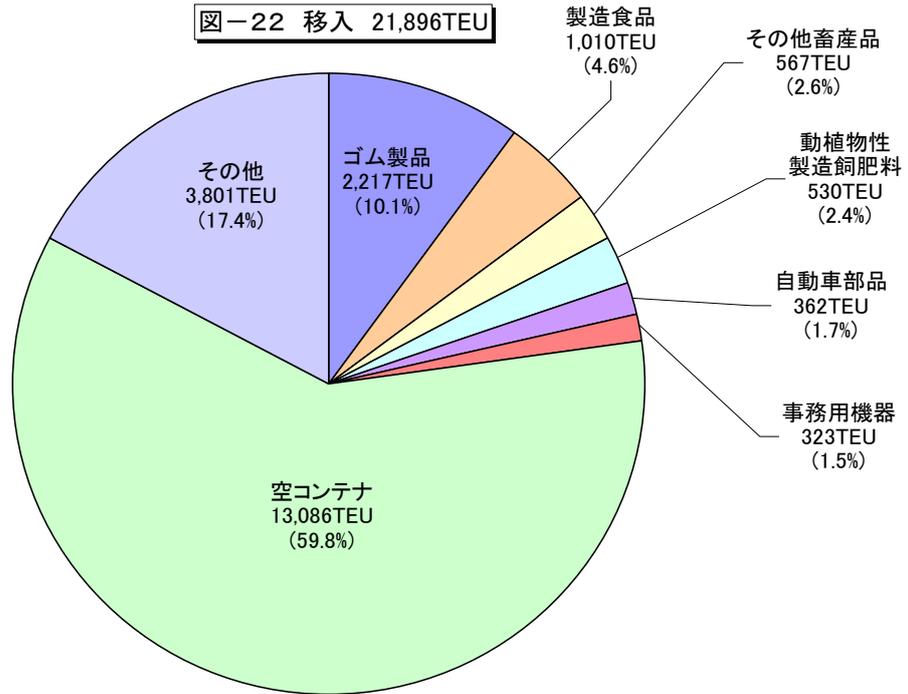
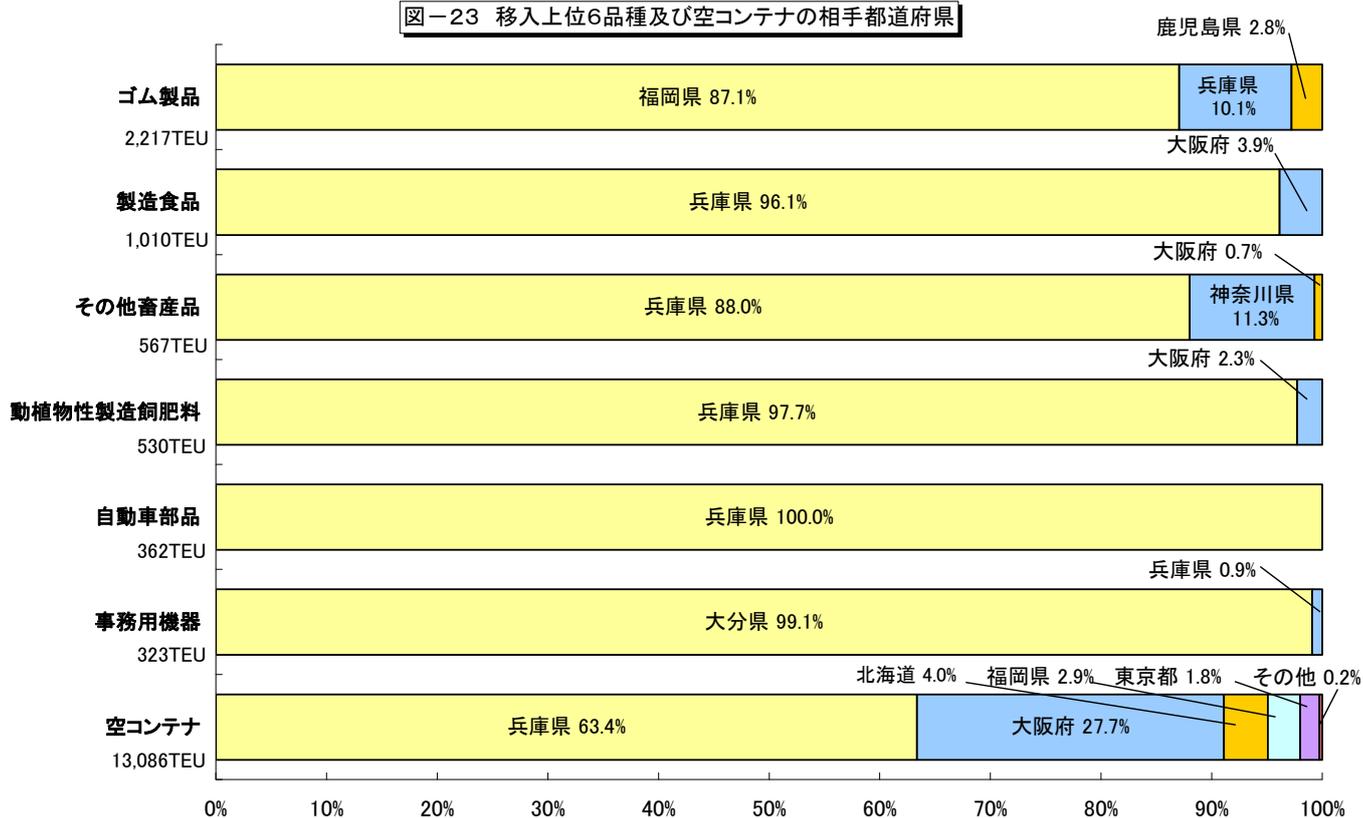


表-19 移入 品種別コンテナ取扱個数 (上位6品種及び空コンテナ)

(単位: TEU)

順位	品 種	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	ゴム製品	2,217	10.1%	655	5.0%	1,562	338.5%
2	製造食品	1,010	4.6%	984	7.5%	26	102.6%
3	その他畜産品	567	2.6%	498	3.8%	69	113.9%
4	動植物性製造飼肥料	530	2.4%	1,159	8.9%	▲ 629	45.7%
5	自動車部品	362	1.7%	458	3.5%	▲ 96	79.0%
6	事務用機器	323	1.5%	12	0.1%	311	2691.7%
	空コンテナ	13,086	59.8%	5,647	43.3%	7,439	231.7%
	上記以外その他	3,801	17.4%	3,623	27.8%	178	104.9%
	合 計	21,896	100.0%	13,036	100.0%	8,860	168.0%

図-23 移入上位6品種及び空コンテナの相手都道府県



(3)主要都道府県別

移入相手都道府県別では、兵庫県が14,258TEU(構成比 65.1%)、大阪府が3,783TEU(同 17.3%)、福岡県が2,499TEU(同 11.4%)、以下北海道、大分県と続いている。(図-19、表-20 参照)

表-20 移入 都道府県別コンテナ取扱個数(上位7都道府県)

(単位: TEU)

順位	仕出都道府県名	平成23年	構成比	平成22年	構成比	増減	前年比
1	兵庫県	14,258	65.1%	9,891	75.9%	4,367	144.2%
2	大阪府	3,783	17.3%	1,371	10.5%	2,412	275.9%
3	福岡県	2,499	11.4%	1,464	11.2%	1,035	170.7%
4	北海道	520	2.4%	91	0.7%	429	571.4%
5	大分県	320	1.5%	0	0.0%	320	-
6	東京都	230	1.1%	120	0.9%	110	191.7%
7	鹿児島県	186	0.8%	0	0.0%	186	-
	上記以外その他	100	0.5%	99	0.8%	1	101.0%
	合計	21,896	100.0%	13,036	100.0%	8,860	168.0%

4. 国内海上コンテナ取扱個数

国内海上コンテナ取扱個数は 56,764TEU(前年比 100.1%)であった。なお、移出コンテナが 33,557TEU(同 100.3%)、移入コンテナが 23,207TEU(同 99.8%)であった。

(図-24、表-21 参照)

図-24 国内海上コンテナ取扱個数の推移

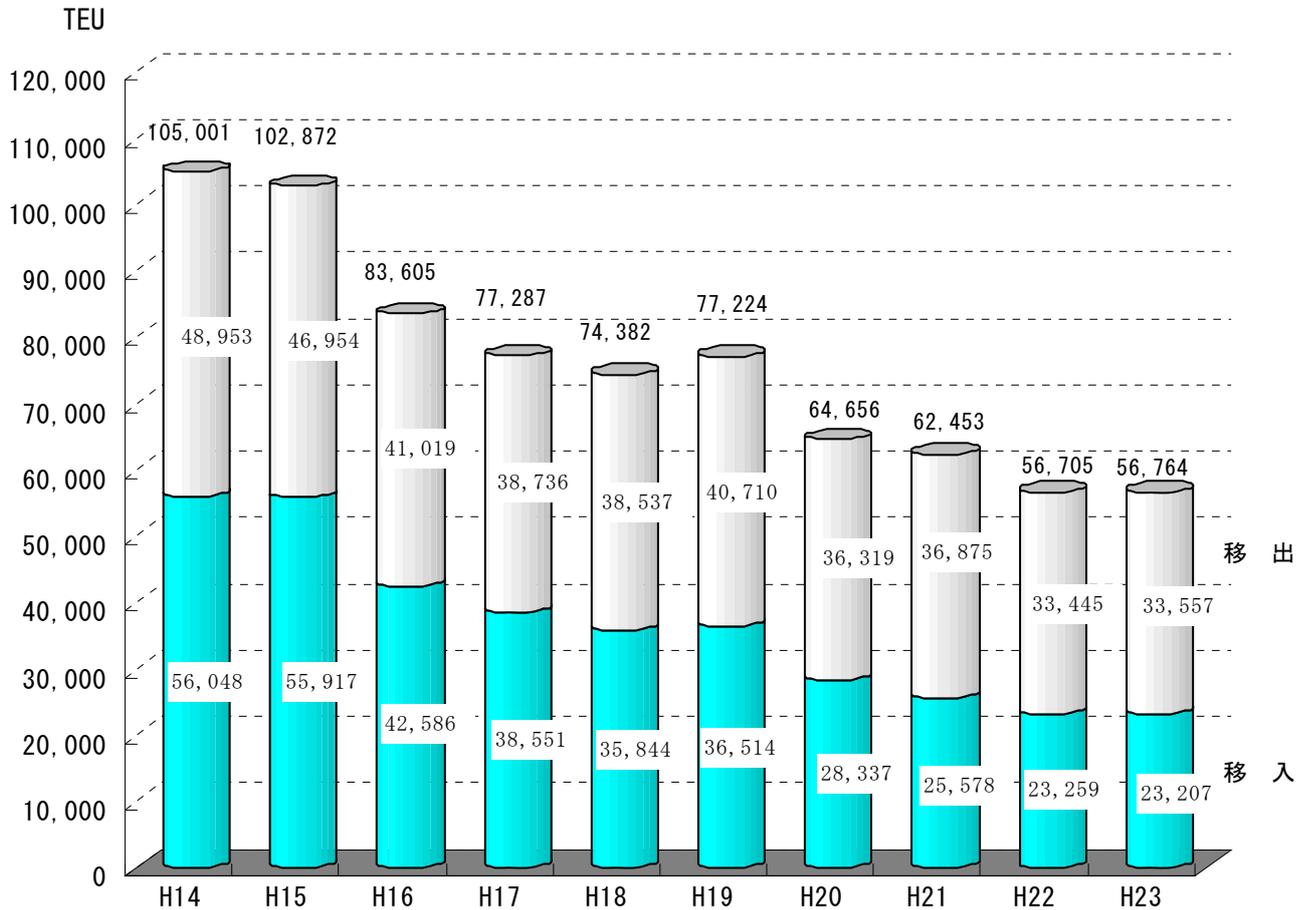


表-21 国内海上コンテナ取扱個数の推移

(単位: TEU)

区分	平成23年		平成22年		平成21年		平成20年		平成19年	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	
内国貿易	移出	33,557	100.3%	33,445	90.7%	36,875	101.5%	36,319	89.2%	40,710
	移入	23,207	99.8%	23,259	90.9%	25,578	90.3%	28,337	77.6%	36,514
	計	56,764	100.1%	56,705	90.8%	62,453	96.6%	64,656	83.7%	77,224

※ 実入コンテナと空コンテナの合計値。

5. 船舶乗降人員

船舶乗降人員は、外国航路が 66.4 万人(前年比 76.1%)、内国航路は 108.9 万人(同 97.1%)となり、外内航あわせて 175.4 万人(同 87.9%)であった。(図-25、表-22 参照)

図-25 船舶乗降人員の推移

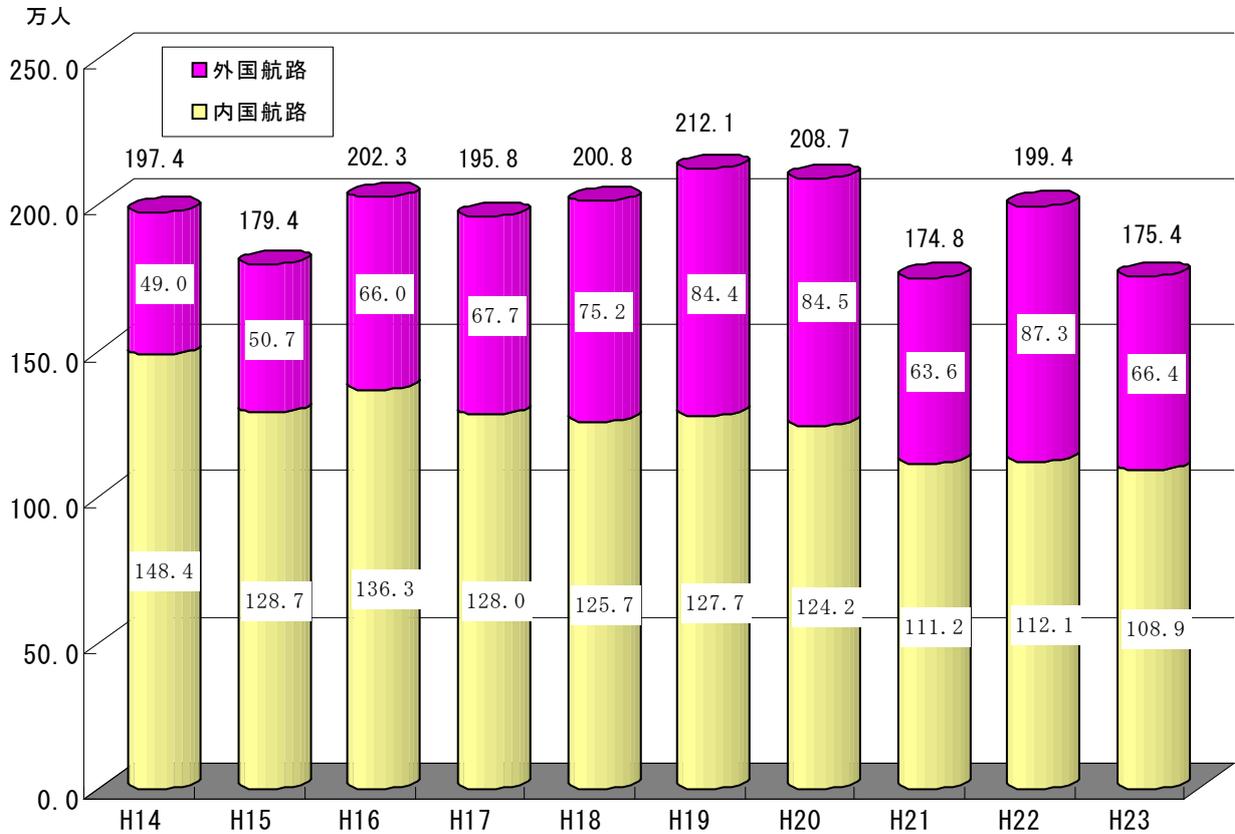


表-22 船舶乗降人員の推移

(単位：人)

区分		平成23年		平成22年		平成21年		平成20年		平成19年
		人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員	前年比	人員
外国航路	乗込人員	334,846	76.6%	437,139	137.6%	317,794	75.0%	423,957	100.7%	420,840
	上陸人員	329,582	75.6%	435,753	136.8%	318,475	75.6%	421,274	99.6%	422,814
	計	664,428	76.1%	872,892	137.2%	636,269	75.3%	845,231	100.2%	843,654
内国航路	乗込人員	560,027	97.0%	577,151	100.8%	572,308	89.3%	640,823	97.6%	656,296
	上陸人員	529,151	97.3%	544,097	100.9%	539,468	89.8%	601,077	96.8%	621,143
	計	1,089,178	97.1%	1,121,248	100.9%	1,111,776	89.5%	1,241,900	97.2%	1,277,439
総計	乗込人員	894,873	88.2%	1,014,290	114.0%	890,102	83.6%	1,064,780	98.9%	1,077,136
	上陸人員	858,733	87.6%	979,850	114.2%	857,943	83.9%	1,022,351	97.9%	1,043,957
	計	1,753,606	87.9%	1,994,140	114.1%	1,748,045	83.8%	2,087,131	98.4%	2,121,093

